

2015年度学科共通科目  
「哲学・思想の基礎」  
第一回の小テストの解答

[http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/  
shin-kokusai/philosophy/top.html](http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/shin-kokusai/philosophy/top.html)

担当

熊坂元大・石田三千雄・山口裕之

問1. この授業の「目標」で**ないもの**は  
どれか。

1名

- ① 人文科学(哲学)に関わる幅広い知識の理解
- ② 高い倫理観の涵養 2名
- ③ 日本語で論理的文章を書くことができる能力  
の養成 5名
- ④ 日本語で論理的文章を読むことができる能力  
の養成

89%

問2. 功利主義は何の哲学として揶揄されたか。

① 羊の哲学

② 豚の哲学

③ 狼の哲学

④ 貧乏人の哲学

100%

### 問3. 哲学と科学の関係は。

① 科学は哲学から派生してきた。

95%

② 哲学は科学から派生してきた。

2名

③ 哲学と科学とは何の関係もない。

④ 哲学は主観的、科学は客観的。

2名

## 問4. リベラリズムの立場は、

- ① 善に対して正しさを優先する。
- ② 政治的には各人の平等を尊重する。
- ③ 経済的には経済成長を重視する。
- ④ 宗教的にはキリスト教の立場をとる。

89%

8名

## 問5. 「一言カード」には、

① 根拠のある意見を書く。

100%

② 授業への感想を書く。

③ 自分の思いを素直に書く。

④ 日々の哲学的な疑問を書く。

平均

95%

4/17のコメントへの応答



# 一般的な注意

- 「哲学について**深く学んだ**」
  - 「**いろいろな**哲学者の名前が出てきて混乱した」
  - 「科学と人間の授業との繰り返しが多かった」
- 
- 具体的に書いてください。
  - 文章が書けないという人は、具体的に書いていない・理由や根拠を書いていない。

# 哲学のイメージ

- 哲学は結論の出ないことをつらつら考えるものだと思っていた。
- 哲学は科学と違って終わりのないものだと思っていた。
- 哲学はあいまいなものだと考えていた。
- なぜそのようなイメージを持っていたのか、理由を書いてください。

# 「正しさは人それぞれ」

- 「正しさは人それぞれでない」と言っていたが、正しさの**基準**は人それぞれではないか。
- 正しさについて語る人の主観が、正しさという言葉や正しさの**判断基準**に入ってしまうので、正しさなんて存在しない。

私が「正しいと思う」



正しい

# 「国家が正しさを決める」

- 「人を殺しておいて正しさは人それぞれなんてありえない」と言っていましたが、日本は死刑制度を存続させています。...国家が決めた正しさを普遍的なものと言っているのかどうか疑問に思いました。各個人の正しさが衝突した場合、普遍的な正しさなどあるわけがないと考えます。
- 太平洋戦争のころは国家のために死ぬことが美德とされ、誰もそれを疑う者はいなかった。...我々もメディアなどに洗脳されているだけかもしれない。だから「正しさ」など存在しない。

- 国家の決めたことが「正しさ」だというなら、**国**  
**家を批判することはできない**、ということになる。
- 意見が対立したとき、双方が納得できる「正しさ」が見いだせないとしたら、問題はどうやって解決できるのですか？

# 「正しさは人それぞれ」ではありえない

- 事実についての正しさ(科学的知識の正しさ)
  - 物に関わる。(：自分ではないもの)
- 倫理についての正しさ
  - 他人に関わる。(：自分ではないもの)



自分で勝手に(あるいは国家が勝手に)決めることはできない。

## ただし、

- 「正しさが**初めから決まった形で**そこに存在している」かどうかは分かりません。
- 問題を解決するときに、「共有できる正しさがあるはずだ」という、**根拠なき前提**を受け入れるからこそ、人は話し合いで物事を解決しようとしています。
- もしそのようなものはないというなら、**物事は暴力で決まってしまう**。
- 「自然法則があるはずだ」という**根拠なき前提**を受け入れるからこそ、自然科学の探求をするのと同じことです。



# どうしてこんなに誤解が蔓延しているのか？

- デカルト「われ思う、ゆえにわれあり」
  - 「私が考えている内容は間違っているかもしれないが、私が考えているという事実そのものは正しい。」
- 哲学をなまかじりの日本人がこれを誤解して、「それぞれの人を考えている内容が正しい」と誤解したのではないか？
  - 「好み」であれば人それぞれでもかまわないが。
  - デカルト自身は、ここを出発点として、「自分の考えている内容が正しいと言えるのはどういう場合か」を考えていった。

# 高校の倫理の授業との違い

第3セッションの話題に限りませんが、「高校の倫理では記憶するための勉強しかしてこなかったという」指摘が幾つかありました。大学では、過去や現在の哲学者の思想を学び、物事を自分で哲学的・倫理的に考える力を養うことが重要です。特に、現代の社会問題を考えるベースを築く上でもそのことは重要です。また「メタ思考、思想の普遍性に注目すること、論理的に考えること」を、この授業で身につけてください。

# リベラリズムの補足

第3セッションで扱うリベラリズムは、ロールズのリベラリズムです。広い意味でリベラリズムは、J.S.ミルの功利主義的リベラリズム(特に他者危害の原則: 他者を害さない限り人は自由である)も、リバタリアニズムも含まれますので注意してください。したがって、この広い意味でのリベラリズムと、正義が善に優先するとするロールズのリベラリズムを一緒にすると混乱が起こります。この点は授業の際に改めて注意します。

# 個別的な問題：リベラル・デモクラシー について

授業の中で触れた「リベラル・デモクラシーを政府が破壊しようとしている現状」とは、特定秘密保護法の制定や、日の丸掲揚や君が代斉唱を文部科学大臣が学長に要請するとしたことなどを指します。リベラル・デモクラシーは、本来は現代社会の根幹をなす基本的な政治思想ですが、選挙制度に見られるような機能不全や偏狭なナショナリズムなどにより自らを掘り崩しつつあります。安全保障に関して国家に秘密があるのは当然ですが、時の政府が秘密事項を恣意的に運用する危険性があります。また大学は本来、自由に(国家から相対的に独立に)物事を考え・判断できる国民を教育する機関です。このような要請は大学の自治にも反するでしょう。

# 功利主義

- 功利主義は最大多数の最大幸福を原理とする。では、この考えにおいて少数派の意見はどのように扱われるのか。少数派の意見は全て切り捨てるのか。それとも彼らの意見も尊重し、代表者と協議を重ねるのか。お答え頂ければ幸いである。

# 哲学と倫理の違いと豚について

- 「哲学」と「倫理」の違いをどう説明したらいいのでしょうか。高校の「倫理」の教科書には「哲学」的な分野も含まれていたと思います。また功利主義は、どういった点から「豚」の哲学と呼ばれるのか疑問に思った。何故、「豚」でないといけないのか。